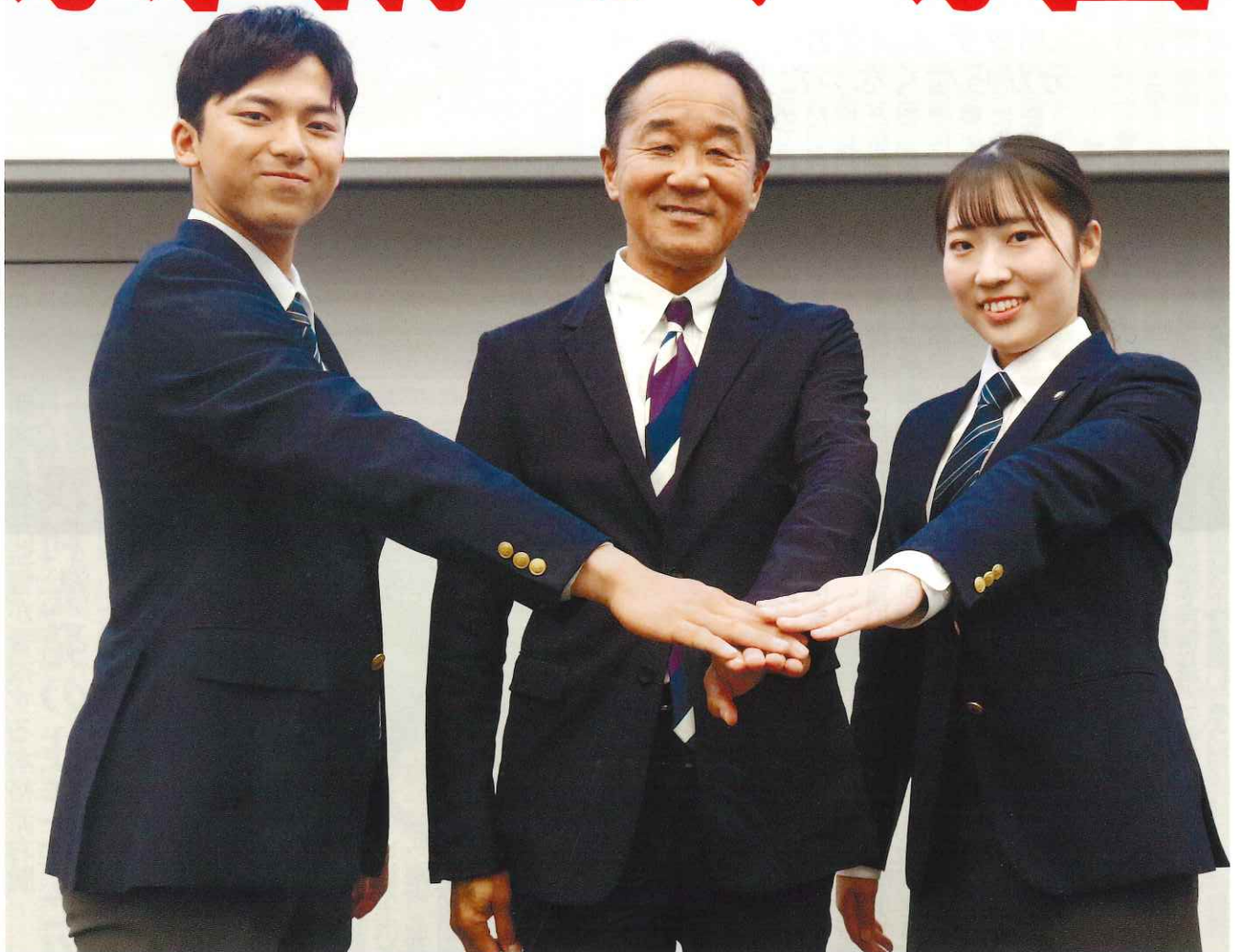


meiji 駿台倶楽部会報

明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部
 会長 吉川 芳登
 府中市若松町5-6-1
 明治大学野球部合宿所内
 電話番号 (042) 313-4134
 F A X 番号 (042) 364-5605

戦後初4連覇夢散も… 宗山主将でV奪回



85年ぶり届かず
9勝4敗の2位

戦後初の4連覇は成らなかった。令和5年度の秋季リーグ戦は9月9日に開幕、85年ぶりのV4を狙った明大は慶大に勝ち点を落としたのが痛く9勝4敗の勝ち点4で2位に終わった。最終カードの法大2回戦に敗れ優勝の可能性がなくなった中、3回戦をしっかりと勝ちきった戦いは立派。上田希由翔主将(愛産大三河)の元、4年生の団結力で春秋とも明大らしい戦いを見せてくれた。ベストナインには堀内祐我二塁手(愛工大名電)が2季連続、上田三塁手が3度目(一塁手で1回の計4回目)の受賞となった。最優秀防御率には蒔田稔(九州学院)が獲得し有終の美を飾った。

新チームも始動、主将には宗山遊撃手(新4年)広陵、副将には中山琉唯捕手(同)常総学院、飯森太慈外野手(同)佼成学園、直井宏路外野手(同)桐光学園、また主務にはチーム初の女性・岸上さくら(同)立命館慶祥)が就任した。

ドラフト会議では上田がロquette1位、石原勇輝(広陵)がヤクルト3位、村田賢一(春日部共栄)がソフトバンクの4位に指名され14年連続でプロからの指名を受けた。また1月14日には4年ぶりにOB総会を本校で開催。現役、OBら250人が集結し新幹部の紹介、4年生の送別、駿台倶楽部賞の表彰等が行われた。

▲V奪回燃える!!今季の優勝を誓う
 ▲(左から)宗山主将、田中監督、岸上主務

新入生14人 期待と不安を胸に明大の門を叩く

甲子園V右腕が入学

野手も好素材多ク!!
 昨夏の甲子園で151センチをマーク。仙台育英のエース格として活躍したのが湯田。決勝までの6試合の全試合に登板。ストリートボールを軸に変化球をこらすに決めた。大学の練習に参加した際、投手練習を見た高田繁(駿台倶楽部副会長)は「やっぱり湯田はいいボールを投げる。大ききうなすいた。2年夏は優勝に貢献。3年春はセンバツ8強と大舞台での経験も豊富。大学でどこまで成長するか楽しみだ。ただ田中監督は新人投手には無理をさせない方針。まずは体力強化に主眼を置く。林もセンバツ史上初の6勝をマークしたタフネス右腕。球速では湯田には及ばないが、大崩れしない投球術は抜群。『全国には上には上がいる』と明大では1以88の入室(高松商)が未知の魅力を秘める。また体全体を使いつかりてくれた大化けの予感もする。1以77、70キロと細身ながらキレで勝負するの

3年夏に全6試合に登板
 今年も有望な高校生14人がスポーツ特別推薦入試に合格、明大の門を叩く。投手6人、捕手3人、内野手3人、外野手2人のメンバー。2年夏に甲子園Vに貢献。3年夏も準優勝した仙台育英・湯田純真投手、3年センバツで史上初の6勝を挙げ優勝した山梨学院の林謙吾投手も合格。春夏優勝経験投手が同時入学する。

◇新1年生名簿◇

位置	氏名	出身校	投打	身長	体重	
投手	★浦久室	響満介吾	航石川	右左	179	66
	★大波田	亮瑛謙介	高松商	右左	177	83
	★林湯田	山梨学院	山梨学院	右左	188	80
	★渡邊聰之	山梨学院	山梨学院	右左	180	84
	★渡邊聰之	山梨学院	山梨学院	右左	181	85
捕手	★佐仲	大輝慎一	山梨学院	右右	181	82
	★高橋	喜一	長崎日大	右右	180	78
	★豊田	喜一	長崎日大	右右	170	66
内野手	★磯田	圭太郎	作新学院	右右	178	82
	★河田	真太郎	愛工大	右右	173	63
	★半田	真太郎	健大高崎	右右	168	78
外野手	★田上	夏衣久	広陵	右左	173	72
	★秋	宗久	横濱	右右	185	86

※★=甲子園出場

社会人野球日本代表 O.B.川口朋保氏が監督
 ◇就任 社会人野球の日本代表監督にO.B.の川口朋保氏(52)が就任した。任期は26年9月に行われる「第20回アジア競技会」まで。同氏は和歌山桐蔭から明大に進み、94年に三菱自動車岡崎に入社。都市対抗野球に4回出場、同部の監督も務めた。また東邦ガス(愛知)の新監督に宇津野純一氏(40)が就任した。同氏は大府から明大に進み大学日本代表にも選ばれた。

今井が豪快場外弾
 11月24日から静岡でオースタムフレッシュトーナメントが開催され、26日に明大が初戦の筑波大戦では打線が振るわず1-2の惜敗。その中で、レギュラーを狙う今井外野手が右翼席外に一発を放って一矢を報いた。第2試合は静岡産大と対戦。今季の活躍が期待される左腕・毛利が完璧な投球。3-0で快勝した。

山梨学院からVバッテリー センバツ史上初6勝の林
 春、夏の頂点に導いたエースがタッグ
 が波田(浜田)。球速は130キロ中盤だが、質がよいストリートは速く見える。高校の先輩・和田(早大ソフトバンク)を目標に汗を流すつもりだ。野手では林とバッテリーを組みセンバツ優勝を飾った佐仲は強肩強打の捕手。河田内野手(愛工大名電)は守備のセンスは抜群。遊撃手として活躍が期待される。外野では宗山主将の後輩・田上(広陵)の巧打が光る。1番打者として長打も兼ね備えている。秋(横浜)は1以85と大型外野手。左打者の多いチームにあって期待の右打者。横浜で守備も鍛えられており、ベンチ入りは早いかもしれない。

「第」もV届かず…3位
 4月開幕の春季リーグ戦に何人がベンチ入りを果たせるか。オフの間も大学から与えられたメニューをこなし入寮も済ませた。インシジョン団に新風を吹かす逸材が大学野球のスタートを切った。

オースタムフレッシュトーナメントin静岡
 11月24日から静岡でオースタムフレッシュトーナメントが開催され、26日に明大が初戦の筑波大戦では打線が振るわず1-2の惜敗。その中で、レギュラーを狙う今井外野手が右翼席外に一発を放って一矢を報いた。第2試合は静岡産大と対戦。今季の活躍が期待される左腕・毛利が完璧な投球。3-0で快勝した。

東京六大学2023年秋季L Play Back



日	対戦相手	結果
9月9日	神宮第1	東大000 000 000 0
9月10日	神宮第2	明大100 200 000 3
9月23日	神宮第1	明大100 011 000 3
9月24日	神宮第2	早大100 001 000 2
9月25日	神宮第1	明大100 000 100 2
9月30日	神宮第1	明大001 400 200 7
10月1日	神宮第2	立大200 000 000 2
10月10日	神宮第2	明大012 000 00X 3
10月14日	神宮第1	明大000 100 100 2
10月15日	神宮第2	慶大000 000 000 0
10月16日	神宮	明大000 000 000 0
10月21日	神宮第1	明大020 102 000 5
10月22日	神宮第2	法大000 600 030 9
10月23日	神宮	明大000 200 200 4

◇東京六大学野球投手成績9傑◇(全日程終了)

選手名(所属)	勝	敗	責
① 詩田(明)	6	3	0
② 外丸(慶)	8	6	0
③ 吉鶴(法)	9	3	2
④ 伊藤(早)	8	4	1
⑤ 加池(立)	5	2	2
⑥ 池田(立)	7	0	2
⑦ 村田(明)	8	3	2
⑧ 田中(東)	7	0	3
⑨ 松岡(東)	6	1	4

◇東京六大学野球打者成績10傑◇(全日程終了)

選手名(所属)	打率	試	打	安	点	困
① 栗林(慶)	.407	14	54	22	16	3
② 宮崎(慶)	.370	14	54	20	13	3
③ 熊本(早)	.349	12	43	15	2	1
④ 熊本(早)	.342	10	38	13	8	1
⑤ 熊本(早)	.340	14	50	17	7	3
⑥ 栗林(明)	.339	13	53	18	4	0
⑦ 浦(法)	.333	14	48	16	8	1
⑧ 吉谷(早)	.324	12	37	12	9	3
⑨ 吉谷(早)	.324	10	37	12	3	0
⑩ 藤来(法)	.321	14	56	18	6	0
⑪ 武川(法)	.321	14	56	18	4	0

◇東京六大学秋季リーグ戦勝敗表◇(全日程終了)

順	校名	慶	大	明	大	早	大	法	大	立	大	東	大	勝率
①	慶大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.769
②	明大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.692
③	早大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.667
④	法大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.462
⑤	立大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.200
⑥	東大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	.091

最優秀防衛獲得
 指名漏れも
 詩田
 最優秀防衛率のタイトルを獲得してプロンス像を手にする詩田

「2年後を目指します」
 ①…プロ志望届を提出したが吉報届かずに詩田は社会人野球(JFE東日本)で都市対抗を目指す。昨秋は最優秀防衛率のタイトルを獲得。プロにアピールしたが及ばなかった。「仕方ないです。シヨックでしたが切り替えます。社会人で頑張って2年後を目指します」と前を向いていた。

堀内&上田ベストナイン獲得
 ▽二塁手 堀内祐我(4票=2回目) 打率は.229と低かったが守備力が買われた。票が割れ4票で獲得。2季連続。
 ▽三塁手 上田希由翔(10票=4回目) 三塁手としては3回目。304、12打点とチャンスに強い打撃を發揮した。

4年ぶりOB総会&懇親会開催

総勢250人参加
 OB総会&懇親会が1月14日、千代田区神田駿河台の本校で4年ぶりに開催された。午前中に理事会、総会が行われ午後には4年生送別会、懇親会、新3年生の成人式とOB、現役部員ら250人が集まった。

コロナ禍で中止されていた新年の恒例行事が再開。能登半島地震災害のため年頭の挨拶を省き、鬼籍に入られたOB会員のため黙祷でスタート。総会では会計報告やOB会員の駿台倶楽部賞表彰式などがあつた。会場を移し午後からは吉川



懇親会には多くのOBが集まった

5人が「駿台倶楽部賞」受賞

「駿台倶楽部賞」を受賞したのは春の叙勲で旭日双光章を受賞した高山久男氏（S33年卒）、日本高野連から成功労賞を受賞した本間茂裕氏（S53年卒）横山真哉氏（S61年卒）、都市対抗野球で新人賞にあたる若獅子賞を獲得した中村奎太氏（三菱自動車岡崎＝R5年卒）、社会人野球でベストナ



総会で駿台倶楽部賞を受けた本間氏（左）と横山氏

長登会長の挨拶、高田繁副会長の乾杯の音頭で懇親会が始まった。

4年生と現役部員の駿台倶楽部賞の授賞式もあり約2時間の再会に話が弾んだ。懇親会の後は新3年生の「上級生宣言会」。新4年生が給仕役を務め新上級生たちを祝った。

また地震で大きな被害を受けた日本航空石川（輪島市）の中村隆監督がOBとして支援を要望する声があがり中村監督が要望するトランプ、レキといったグラウンド整備に使う道具を送った。また岩井俊樹氏が副部長を務める社会人野球チームの「ツネインスパイア」硬式野球部からボールが送られた。日本航空石川は地元では野球ができないため系列校の日本航空・山梨に移動。震災で苦しいチームに駿台倶楽部が団結して支えていくことになった。

後藤晃吾氏、住友平氏ら死去

令和5年度も多くの駿台倶楽部会員が亡くなった。駿台倶楽部会報37号で報じた杉下茂氏（享年97）が6月12日に肺炎で死去。08年から11年間、母校の投手コーチを務めた後藤晃吾氏（享年83）が12月24日に肝臓がんで、関西支部長を務めた住友平氏（享年80）も10月11日に細菌性肺炎で死去された。



08年から投手コーチ就任

後藤さんは59年、掛川西から明大に入学。61年春の優勝にエースとして貢献、ベスト9にも輝いた。八幡製鉄に入社すると10年連続で都市対抗野球に出場、68年の第39回大会では3勝を挙げチームをベスト4に進出させ小野賞を受賞。監督としても同チーム（新日鉄八幡）を準優勝に導いた。

善波達也前監督の要請で08年から母校の投手コーチに就任。山崎福也（日本ハム）野村祐輔（広島）柳裕也（中日）森下暢仁（広島）らをプロに送り出した。明るい人柄で周囲は常に笑いに包まれた。社会人監督を経験、育成という面でチームに大きな功績を残し

浪商で夏の甲子園優勝

①…関西支部長も務め、母校に愛情を注いだ住友氏。浪商（現大体系浪商）では夏の甲子園優勝を経験、明大に進学後は内野手としてガッツあふれるプレーで神宮を沸かせた。阪急にドラフト3位で入団し「いぶし銀」の活躍で阪急の黄金期を支えた。67年7月30日の東京（ロッテ）戦ではプロ野球唯一の1人トリプルプレーを完成させた。現役引退後も阪急、近鉄でコーチを務めた。関西支部長時代は春の沼津キャンプにも参加、後輩たちにノックバットを握って指導。常に後輩を気にかけていた。

【野球部に死去の連絡があった倶楽部員の方々＝敬称略】
 森茂雄（昭和25年卒）野本俊夫（同28年卒）井垣五夫（同29年卒）中村恒夫（同30年卒）黒木弘重、長尾雅史（同31年卒）鈴木哲、山本博敏（同32年卒）松田高明、森田昭郎（同33年卒）池田英俊、木沢敏明、木村幹雄、中林大、山瀬弘明（同35年卒）杉尾庄三（同36年卒）高芝忠男、中尾義和（同37年卒）十見紀郎、西川和哉（同38年卒）松井登（同40年卒）笠原弘之、小林宏（同42年卒）田中正俊、野沢宏泰（同43年卒）倉町康一、山野エミール（同44年卒）大和田進一、田尻達夫（同47年卒）佐藤俊則（同52年卒）

島岡吉郎物語 ～大学監督編～

最終話

前回まで 島岡監督就任2年目の28年秋、ふがいないレギュラーを控え選手が殴れという監督指令でチームに化学変化が起こった。



この笑顔を見るために選手は頑張った

島岡流の荒療治

28年秋季リーグ。東大に連勝したものの早大に連敗。ここで前号でも書いた控え組がレギュラーを殴る島岡流の荒療治が起こった。殴る方も殴られる方も心の中で泣いた。チームのために懸命に支える控え組がいながら早大に連敗するとは何事だ！という訳だ。一歩間違えれば空中分解の可能性もあったが、逆にチームはまとまったという。

3カード目の法大戦は初戦引き分けに終わったが、2回戦は秋山が3安打完封、3回戦も穴沢一覆本のリレーで零封し連勝。続く慶大戦は初戦引き分け、2回戦を4-3の1点差で逃げ切ると3回戦は秋山が1失点完投で連勝、勝ち点を3に伸ばし

戦後初の優勝!!

周囲は一気に優勝ムードとなった。しかし島岡は「まだ早慶戦が残っている。優勝した訳じゃないんだ」と手綱を緩めることはなく、早大が慶大に2勝1敗ならプレーオフとなるため練習に集中していた。最後の早慶戦。明大の願い通り慶大の2勝1敗で終わり、ついに戦後初の優勝を飾ったのである。インタビューを受けた島岡は「総理大臣になったよりうれしい」と政治家志望の男らしいコメントを残した。「野球部

代名詞「人間力」

の改革」を島岡に託した大学側の思いは2年で実を結んだ。レギュラーの4年生は2人だけ。秋山、土井ら「花の27年組」が台頭し若いチームでも優勝できたのは「4年生が頑張ってくれたおかげ」と称えた。ここが島岡らしい。明大野球部の代名詞「人間力」はここから始まった。

今年でリーグ99年目を迎えた東京六大学。長い歴史の中、最初で最後の「素人監督」は今でも「御大」と呼ばれOBたちは懐かしむ。鉄拳で殴られても御大の教え子という誇り。「人間力野球」は脈々と受け継がれている。＝終わり＝（敬称略）

OBたちが「六球会」念願V

東大に逆転勝ち 4勝1敗で
 明大OBたちが念願の優勝を飾った！東京六大学OBの野球大会「六球会」が12月4日、神宮球場で行われ東大相手に逆転勝ち。4勝1敗の成績で優勝した。

5年をかけて行われる同大会。最終戦の相手は東大だった。3点を先制され苦しい展開となったが、4回に打線が爆発。リーグ10勝をマークした東大・大山投手に襲いかかり3番・石塚正信（83

六球会野球で、4勝1敗の成績で見事優勝を決めたOBチーム



る大会にして2回目。明大は初優勝となった。なお2位には3勝2敗で慶大、法大、4位は2勝3敗で早大、東大、6位は1勝4敗の立大だった。

今年からは新たに5年に及ぶリーグ戦がスタート。60歳以上なら誰でも参加OKなので、連覇を目指して奮ってご参加ください。

キュウトの誓い「80安打50打点は最低挙げたい」

上田主将 M 1位、石原 S 3位、村田 S 4位指名



10月26日に行われたプロ野球新人選定会議（ドラフト）で明大からは上田主将がロツテから1位指名を受け、石原投手はヤクルトから3位、エースとしてチームを支えた村田投手はソフトバンクから4位指名を受け入団した。厳しい世界に飛び込む。人は明大で身につけた「人間力」で1年目の活躍が期待される。

10本塁打、打点数は最多となる74とすばらしい実績がある。74打点は六大学でも4位にランクされる数字だ。いかにチャンスに強かったかを証明する打点。当然ロツテでも中軸を任せられる選手になるつもりだ。

なじみの背番号10

府中市の島岡寮でドラフトの中継に見入っていた上田の表情に笑顔が広がった。ロツテからの1位指名。4年生の仲間からの拍手を浴び田中武宏監督と握手を交わす姿に安堵感がにじみ出ている。プロはレベルの高い。プロはレベルの高い投手が多いので負けないように頑張りたい。ロツテといえば熱狂的な応援が有名。名前の「キュウトと呼ばれた」と早くもファンに声援のリクエストだ。もちろん1年目から一軍のグラウンドに立たないと声援は受けられない。しかし上田には通算打率・312に

横で見守った田中武宏監督も1位指名に満足そう。主将に任命し3連覇を達成。「チーム上田が成長してくれた」と何度か口にしたように、主将の重圧をはねのけ好成績を残した教子に「よかったな。頑張れよ」とエールを送った。12月7日に行われた新入団発表会では、背番号も発表され大学時代と同じ「10」に決まった。「ロツテの10番と言えは上田と言われるように頑張りたい。80安打、50打点は最低挙げたい」と控えめながら目標を設定。キュウトがいよいよ新しいステージ立って羽ばたく。

村田「制球力を磨いて」

ドラフト当日。エース村田の不安は膨らんでいかなかった。主将の上田がロツテ1位、投手陣を支えた石原がヤクルト3位指名を受けたが自分の名前が出ない。島岡寮の食堂で指名を待つ気持ちは当事者でないと分からない緊張感が漂っていた。そして4位指名でついに村田の名前がソフトバンクから挙がった。「本当に名前を呼ばれるのかなと不安だったけど、指名を受けてほっとしました」と率直な思いを話した。春までは12勝1敗と負けない投手としてチームの屋台骨を背負っている。持ち味の制球力から

OBたちの行動力に感謝

▽4年ぶりに開催されたOB総会&懇親会。OB多数が集結して懐かしい再会を楽しんだ。▽OBの中村隆さんが監督を務める日本航空石川が被災し石川から練習の拠点を山梨に移した。2年使っていない廃校のグラウンドを使うため「整備する道具があれば」という要望に倶楽部からトンネル&レーキが送られた。ボールを送ってくれたOBもいる。OBのためならと即動いてくれた行動力に感謝しかない。▽主将の宗山はドラフトの超目玉。背番号「10」の重圧もあろう。年が明け会食した際、どんぶり大盛り3杯、石焼きビビンバを平らげ「冷麺もいけたかも」とさう。この胃袋があれば大丈夫そう。OBの皆さん、ぜひ神宮で宗山をはじめ選手への応援お願いします。

「大学で積み重ねたものがあるし勝利数が大事になってくる。スピードにこだわらず制球力を磨いていきたい」と前を向く。12月4日の入団会見では背番号「34」に決まった。大学時代エース背番号「11」を背負った男が、今度は「34」をエース背

に...コツコツと努力を重ねてきた石原選手が、ヤクルトから3位指名を受け入団した。何位さでもいので指名された。石原を歓迎したが、エース村田よりも上位での指名に満面の笑みで祝福を受けた。左腕から140km後半のストレートを軸にカーブ、スライダーに加え一級品といわれるチェンジアップが武器。「早く一軍のマウンドに立って、そして長く愛される選手になりたい」とやる気を見せる。背番号も「35」に決まり大学時代と同じ神宮で快投を誓っていた。

紙面編集 齋木 駿